



平成とともに生まれた「ハロータウン」

昭和の時代は社会教育情報紙「公民館、体育館だより」を春・秋に発行していました。平成になって、生涯学習体系の組織づくりの必要性から全面的に刷新することになり、「ハロータウン」のための編集委員会が設置されました。

市民参加の情報紙

編集に参加する委員を一般から募り、公民館利用者ら市民8人が加わって、紙名も明るい呼びかけの「ハロータウン」としました。



創刊号

創刊号は、親しみやすさをうちだす工夫を凝らして小学生の描いた「未来の家」の絵を一面に掲載し、編集委員が取材し記事を書きました。

生涯学習情報

◎連絡先◎
生涯学習課
☎(20)1559



5号までタブロイド版8頁の紙面での発行でした。

サイズが合わなくて

毎戸配布の印刷物はB5サイズが多いので、その大きさにそらえて欲しいとの要望で、サイズをB5として、6号から10号まで発行しました。その後、Aサイズが主流になり、ハロータウンもそれにならって11号からA4サイズとなりました。

その頃の一面は、生涯学習のグループ活動の様子を写真に収め、その下に、天声人語的なコラムを載せました。生涯学習情報紙として1頁に情報を満載して、読者の期待に

ハロータウンの歴史

年度	号と(回数)	主な記事	参考(茂原市の動き)
平1	創刊号(1)	郷土今昔・作品紹介	資源回収報奨金制度の設定
2	2~3(2)	ブックスポット・人物紹介	茂原公園「桜百選」に
3	4~5(2)	読者の広場・郷土の民話	緑ヶ丘小学校開校
4	6~7(2)	おもしろ館・学校5日制	再開発ビル(サンヴェル)完成
5	8~9(2)	文化財めぐり・作品紹介	茂原駅前モニュメント完成
6	10~11(2)	ちびっ子ギャラリー	美術館・郷土資料館完成
7	12~13(2)	ふるさと再発見・いぶぎ	豊田福祉センター完成
8	14~15(2)	クローズアップ図書館	市役所新庁舎完成
9	16~17(2)	きょういく見聞	市制45周年記念式典
10	18~19(2)	郷土の民話・スポーツ	二宮福祉センター完成
11	20~21(2)	20号記念座談会	長生クリーンパーク完成
12	22~23(2)	もぎたてニュース・A L T	J R 茂原駅エスカレータ設置
13	24~27(4)	まなびすと情報	ソルズベリー市と姉妹都市提携
14	28~31(4)	カヤカヤ馬・郷土の産業	市制50周年記念式典
15	32~36(5)	ほーたる来い・地の不思議	本納商工会館完成
16	37~41(5)	冬の星座・一宮川紀行	ねぎぼうず誕生
17	42~46(5)	飛行場のあった茂原	学校支援ボランティア制度導入
18	47~50(4)	茂原音頭・二十四節気	ワンダフルタイム設定
19	51~54(4)	ガス灯と街灯・新発見伝	男女共同参画セミナー開催
20	55~58(4)	篤姫の大砲・出前講座	圏央道 茂原-東金起工式
21	59~62(4)	六斎市・長屋門・島	J R 茂原駅エレベータ設置
22	63~66(4)	自転車道路・失われた松	洪水ハザードマップ配布
23	67~70(4)	学校給食・茂原古道	茂原市消費生活センター設置
24	71~74(4)	七福神巡り・津波災害	緊急速報メール配信開始
25	75~77(3)	鯛ちょうちん・大きい木	台風26号浸水被害
26	78~80(3)	古里の和食・ミクロの目	図書館移転
27	81~83(3)	半鐘・羯鼓舞・国際交流	マイナンバー制度開始
28	84~86(3)	夢の国際空港・ヨード	美術館・資料館100万人突破
29	87~89(3)	縄文時代の茂原・防災	茂原市文化財マップ作成
30	90~92(3)	方言・秋の七草	ほのおか館開館

※ハロータウンのバックナンバーは図書館で閲覧できます



23号

沿って発行を継続しました。レイアウト変えまじよ社会教育課が生涯学習課と変更になり、これを機に23号からは、紙名がカタカナのみの表記になりました。

表紙は、クレヨン画のようになやわらかいタッチの絵を描き、その中に目次を入れ、29号まで続きました。30号からは、カタカナのタイトルを紙面の上にして、その下に小さく人物のカットを入れました。そして1面から記事を書ける構成にして、48号まで12年間続きました。

この時期は、発行する季節に応じて内容を吟味するなど、

次ページにつづく



30号

編集に工夫を凝らしました。平成18年の49号からは、茂原市の財政健全化の流れの中